

広 報
ふじがわ

3月号

昭和57年3月20日発行

No. 248

町のメモ

昭和57年3月1日現在

人口	17,024人
増減	+ 6人
男	8,423人
女	8,593人
世帯数	4,312世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画開発課



2小の
子どもたち
これから
よろしく

(表紙のことは2ページに)

町の今年
の目標
「笑顔であいさつ
明るい町に」

中央公民館建設調査委員会が発足

明るく住みよい町づくりの事業がいっぱい

昭和57年度の台所は31億1,886万円でスタート

春の1ヶ月

町立第二小学校の七百六人の子どもたちが待ち望んでいた体育館が完成し、3月11日落成式が盛大に行われた。同館は校舎北側にあった講堂を取り壊し、昨年7月25日から総事業費二千九百八十一万三千円をかけ、建設工事に入ったもので、耐震構造の鉄骨鉄筋コンクリート平屋建て（一部二階建て）、延べ床面積は八百七平方メートルである。一階部分はミニバスケットボールコートなら二面、バレーボールコートなら一面をとるのに十分な広さをもち、二階には卓球室もある。

11日の落成式では、常葉町長が「この施設を十分活用され、心身の発達に応じた教育の成果をさらに発展、拡充されることを期待します」と、あいさつを述べ、これに答えて、六年生の遠藤美貴貴さんが「二小の子どもたちは体育がみんな好きです。これからは、この体育館を十分利用し心身をきたえ、自分から進んでやりぬく子」になるよう努力します」とお礼を述べた。

国道一号线・富士川橋の架替えが一步前進

本年度、橋梁部分の一部補修や単費による架設位置などの調査も行われています。調査結果の概要などは、正式には聞いていませんが、数カ所について検討しているようです。いずれ、町に相談もあることと思います。これから県での調査検討、国への協議など、次第に架橋位置や施行時期などもはっきりしてくると思います。このように、陳情の効果が徐々に好結果とながり、事態は前進しています。県との協議が整いつつ、逐次発表していききたいと思います。

果道富士川一身体線改良工事は有無瀬川の下部工を計画

昭和57年度予算はまだはっきりしていませんが、別途予算で有無瀬川の下部工が計画されています。お陰さまで本年度の用地および墓地の関係もほとんど完了しました。富士川橋の架替えも序々に具体化されているようですので、坂下の問題も含め、今後予算の増額などに努力していききたいと思います。

吉津川の砂防ダムは昭和58年度から四カ年継続で

吉津川の砂防ダムについては、静岡県、静岡東土木事務所および土木部砂防課のはからいで、調査

一般行政報告

町議会の3月定例会は、3月10日（水）午前9時から議場で開催され、常葉町長の昭和57年度重点施策や一般行政報告を皮切りに、昭和57年度一般会計補正予算や各特別会計予算固定資産評価審査委員選任につき同意を求めることについてなど、二十議案が審議され、本会議最終日の19日（金）にはすべて原案どおり可決されました。

昭和57年度一般会計予算は二十四億六千二百萬円で、前年度当初予算より三億二千六百十萬円、一・五・三割の増となっています。

なお今月は3月定例会の内、一般行政報告を紹介することとし、昭和57年度の重点施策とそれを反映した各予算は4月号で特集することにしました。

○公立蒲原総合病院は昭和58年4月開院に向け工事が急ピッチ病院の用地・その他につきましては、みなさんにご協力いただき厚くお礼申し上げます。お蔭さまで工事も順調に進んでいます。

造成工事においては2月末現在の進捗率が六五割、建築工事は本体が三割、その他が二割となっています。また乗り入れ道においても舗装工事を除きすべて完了し、舗装工事も予定どおり3月末には完成が見込まれています。現在の進捗状態でいくならば、目標の昭和58年4月開院は十分に達成されることと思っております。

○企業局による中野の宅地分譲事業は買収の進捗率が約九〇割、3月を目標に用地交渉に努力してきましたが、2月末現在で買収可能面積を含めて進捗率は、面積で九一割、人数で九〇割となっています。年度内の日数も残り少なくなりましたが、目標達成のため連日用地交渉に努めています。

また、団地内の分譲計画案も企業局からいただきましたので、近く担当課とおのおの協議し、またまったところで議会とも相談していききたいと思います。

を昭和56年度から二カ年継続で実施し、昭和58年度から四カ年継続で事業実施に入る予定です。県は当町の要望するような計画に努力してくれています。

●農免農道岩淵地区の計画は二億九千四百万円で

これは農業振興施策の一つとして、活力のある農業振興をはかるため、町営土地改良事業により計画実施するものです。松野地区水ノ口地内と室野地内間は、昭和48年度から農免農道富士川一期、二期事業として実施し昨年度完成、引続き同じ農免農道として国・県の協力を求め「岩淵地区」として室野と岩淵の吉津地内・上水道配水池間を延長一千六百五十五、幅員六・五、事業費二億九千四百万円で改修整備し、農業の合理化とあわせて地域生活圏の整備をはかるものです。

●広域基幹農道計画に町も積極的に協力

静岡庵地区の低迷する農業経営を抜本的に改善するため、農業生産物の流通体系や土地の効率的開発整備などを目的に構想したもので、現在は計画の調査準備段階です。これは当町が現在計画している「岩淵農免」と連結して、清水市興津の国道五二号線までを計画の第一段階とし、庵原三町と清水市の広域的な計画であり、県が事

業主体となり実施するものですが、当町としても積極的に取り組み、具体化するよう努力したいと思っております。

●富士川の魚道が3月末に完成

富士川の魚道設置については、かねてから富士川流域住民のみならずから要望があり、四ヶ郷用水組合などと協議していましたが、県農業水産部の予算でこのほど実施が決定し、事業費二千万円で現在施行中で、3月末には完成が見込まれます。

●ゴミ収集事業に4月からパッカー車を導入

ゴミ収集事業については、今までもその合理化に努めてきましたが、その一環として4月1日からゴミ収集をパッカー車で行うことになりました。今までは二トダンブ三台で六人の職員により収集していましたが、二トダンブ一台を二人で、またパッカー車一台に三人乗務としまして、五人で収集業務を行うことになるわけです。ゴミの場合、ダンブとパッカー車との効率を比較しますと、ダンブ四回往復する分がパッカー車一回で済む計算となります。さらに収集業務に要する労力も非常に軽減されるので、職員の労働過重にはならず、収集率は上がりま

す。なお、四トパッカー車が入れない道のゴミ収集所は、区長会とも相談した結果、2月中にすべてご理解をいただきましたので、4月1日からの実施は円滑に行うことができますと思っております。

●6月から富士市には市外局番なしに電話が

現在、富士川町には約四千六百台の電話がありますが、町内から富士市にかける場合、市内局番をダイヤルしなければなりません。今までも電話局に対し、これを町内なみのダイヤル通話ができないものかと要望してきましたが、この6月を目標にして町内と同じあつかいとなるようです。

●清水銀行松野支店の進出は

清水銀行の佐々木頭取から昭和58年度中に松野支店を開行したい旨の発言があり、これが実現しますと地域住民のみならずへの金融サービスとなり、昭和58年度から実施される町税の預金口座振替制度も容易となりますので、早期実現に努力したいと思います。

●近年経済社会の進展にと

もない、金融機関をとりまく環境は著しく変化し、住民生活の中に浸透しています。預金口座振替制度、商取引における手形交換所もその一つと考えます。このほど清水銀行協会では、手形交換所の交換区域を拡大し、庵原郡下の金融機関十九店が3月9日から清水手

形交換所に参加し、地域経済圏の広域化に対処することになりました。

●「町政を語る町民との集い」に出された生活環境の改善要望の実現に積極的努力

昨年の11月中旬から本年2月中旬にかけて、町内三十二区で「町政を語る町民との集い」を行いました。当局からの説明や町民からの要望を主として会を進めてきたわけですが、その際、町民のみならずから出された要望に基づき内容を全地区まとめました。特に生活環境の改善などに対する要望が多くありましたので、昭和57年度は予算とらみ合わせて実施できることから逐次実施していききたいと思っております。

●昭和56年度から五カ年計画で集団伐促進事業を実施中

戦後行われてきた植林により、現在の森林は間伐を必要とする樹齢に達しています。しかし間伐の実施状況は、人件費の値上りや山林所有者の高齢化、山林所有者の多くが間伐の未経験者などによりほとんど間伐を実施していない状態です。

●このような状況を考慮し、森林を計画的に間伐するために、昭和56年度と昭和60年度の五カ年計画で集団伐促進事業を実施して

います。この事業は事業費が一杉当たり十萬四千九百円で、六割の国の補助を受け、当町の山林の間伐を必要とする樹齢十五年〜三十五年生の林木を、毎年二十杉ずつ五年で百杉間伐するものです。本年度は中之郷四十九山を行い2月に終了しました。昭和57年度は中之郷、昭和58年度以降は岩淵・南松野・北松野と実施していく計画です。

●富士川町総合集会所建設調査委員会を発足

昭和60年を目標とした総合計画のなかで、コミュニティセンターとしての機能を有する総合集会所の建設については、中央公民館と仮称し、町民のみならずの心のふれあいの場所として、かねてからその実現を期待されてきましたが、具体的な計画時期になりましたので、町長の諮問機関ともいえるべき富士川町総合集会所建設調査委員会設置要綱を定め、学識経験者・議会の議員・各種団体の代表者・町職員からなる十七名の委員を委嘱、第一回委員会を2月18日開催、委員長には社会教育委員長が互選されました。今後、建設に向けて調査研究を進めることとなり、3月25日には先進地の視察を行う計画です。

なお、建設計画年次は、昭和58年・59年の二カ年の継続事業を計画しています。

今月のテーマ

広報デイスカッション
ぼくたちの子ども会活動

ゴミを捨てないで

第一小学校六年 望月英紀くん
ぼくは木島(さぎ波会)の後期の会長です。なった時は「なにをやったらいいか」と考えてしまいましたが、今はやることもわかるようになり、楽しくおもしろくやっています。

では、ぼくたちがやってきた行事を紹介いたします。5月―親子ゲーム大会、6月―毎日球技大会の練習、7月―球技大会、8月―奉仕活動・一泊二日のキャンプ・きも



一小六年 加藤 誠くん

ぼくは小池子ども会(美鈴会)の前期(昭和56年度)の会長をとめました。ぼくもはじめは「子ども会活動で、みんなといっしょに考えたり、行動したりしていいのだろうか」と、とまどいがち

だめし、10月―子ども文化祭、12月―クリスマス会、1月―新春富士川子ども会、3月―六年生を送る会・バス旅行―これだけの行事があります。この中でクリスマス会のかくし芸がおもしろいです。バス旅行も楽しみです。短かった一年間ですが、いままでもやってきた行事を心の中に大切に残したいと思っています。今こま

でしたが、今はみんなと楽しくやっています。では、ぼくたちが4月からやってきた行事と、これからやるものをしようかいたします。4月―一年生をむかえる会、5月―親子ゲーム大会、6月―球技大会の練習、7月―球技大会、8月―ほうし活動・児童館合宿・盆踊り、10月―子ども文化祭、12月―クリスマス会、1月―新春富士川子ども会

なりました。でも地区対抗の時など、全員で力を合わせてがんばっています。私たちの子ども会は、松野地区の行事のほかに、部落でのほうし活動をしています。それは毎月第二日曜日に、全員で二カ所のお宮さんの清そうをすることです。何年も前から続けられています。夏、雑草がはえて、とても大変な時もあります。また秋になると、けいだいにある大きな「いちよう」の木の葉が、お宮さんのまわりいっぱい落ちて、あたり一面が明るくなったような時もあります。それをみんなで力を合わせてきれいに清そうします。清そうの終わった時のすがすがしい気持ち、私はとても好きです。それに

奉仕活動をしました。そうすると大きなゴミ袋に十袋以上もひろったのです。これからは、ゴミやカンをすてないように協力してください。それから自転車に乗ってもいい所、もつとないかな。校外委員になり責任感がでた

第一小学校五年 柴 令子さん
私は今まで子ども会の行事があると、何となく出席するだけでしたが、五年生の後期から六年生の中に入って校外委員になり、責任を感じるようになりました。

どい、3月―お別れ会―というように、ざっとこれだけの行事があります。そして、たのみたいのですが、このごろの子ども会は「おとな会」に変化しかかっています。それに遊び場もろくにない地区があります。だから、もつとぼくたちが、のびのびと遊べるような場所をたくさん作ってもらいたいと思います。

私たちの子ども会は、月に一回三日曜日を奉仕活動の日としています。空カンやゴミ拾いをして宮町区をきれいにしています。私は、この奉仕活動も今までは朝ねぼうをして行かないこともありましたが、最近ではどうしても出席しなければという気持ちで出かけています。一年間をとおして、いろいろな行事がありますが、10月の宇多利神社のお祭り(おひまち)で、おそいのはつびを着て手作りのおみこしをかついで回り、休けいの時おもしろいおにぎりを三つもたいたげたことは楽しい思い出です。来年度もみんなで楽しくできるように、父兄の方に協力してもらい、いっしょけんめいやっていきたいと思います。

大人に頼らなければだめなのかな

第一小学校六年 近藤正広くん
ぼくは若草会(上町)の後期の会長をつとめています。あと少しで若草会とお別れです。ところで、ぼくたちの子ども会は、ぼくたち子どもだけで活動したことがありません。なぜかという、子ども会のおばさんたちが行事を全部きめてくれるからです。そして子ども会で、役員のおじさんから行事の日、時間などの説明があり

4月のテーマ

私の心に生きている故郷

富士川に越してきて、やがて八年になろうとしている。親兄弟や親戚もいない当地での暮らしは、毎日をやや肩肘(ひじ)張ったものとなっている。親戚がいないが、そんな私の中に故郷が生きているとするならば、それは「方言」であろうか。例えば、息子たち二人をしかる時に出てくる言葉がそれである。感情のままにしかるとは、母親として失格であるが、標準語でやっても迫力に欠けるものがある。子どもたちは当地で育ったので、私が方言でやってもピンとこない。したがって二人は深く傷つくことなく、私の方の溜飲は下がるという具合になる。当地の言葉で育った子どもたちにとっては、富士川が故郷というべきか。「母さん行くらう?」とさりとってのける子どもたちは、まさに富士川の子である。それにしても面白い

奉仕活動はこれからも続けよう

第二小学校五年 井出弓子さん
私は、富士見町矢所部落の子どもの会員です。私たちの子ども会では、以前よりだいぶ会員が少なく

でも地区集会などの時、ぼくたちだけだと意見が少なく、やかましく話合いができません。やはり、おじさんやおばさんたちがいないとうまくまとまりません。

役場前に

太陽電池式時計が

みなさん役場庁舎左側の時計塔を知っていますか。これは駿河ロータリークラブ(豊島徹会長)から、同クラブの創立十周年記念事業として贈られたものです。この時計塔の高さは約六丈、最高部に約七十センチ四方の時計が据え付けられています。また、この時計塔の特徴は、太陽



災害時にもOK

光線をエネルギーとした太陽電池を使用しているため、東海大地震などの災害時にも時を刻むことができます。

なお同クラブは職業者が各自の職業を通し、地域社会に奉仕することを目的にしているため毎年小中学校へ記念植樹など地道な奉仕活動を行っています。

会長になって人前での話も慣れた

第一小学校六年 石井克典くん

ぼくは東町二区の後期校外委員の会長をやりました。校外委員をやってみて、校外委員のつらさがよくわかりました。例えば、ぼくは人前に出てしゃべったりすることがへたなので、地区集会の司会の時などは、なかなか話が進みませんでした。また休み時間、本当は遊びたいのに話を聞かされたりしました。そして放課後は、話し合いなどもしました。それから、立証指導の時、朝寒い日も雨の日も、とおる小学生にあいさつをしたり、注意したりしなければなりません。一番はじめの日には、ヘルメットをかぶっていたせいか、笑われたりもしました。けれど後で考えてみると、ぼくがもし校外委員でなかったら、きつと笑っていただろうと思います。

子ども会のいろいろな行事があるから、行かなきゃダメ」とか、何かをやる時「会長がやればいいよ」など、いわれるのでいやでした。冬休みのマラソンや奉仕活動などで、事故にあつたらぼくの責任だと思心配しました。今でも事故がなくてよかったと思っています。

ぼくは後期校外委員をやっていることもあつたけど、人前で話せることも少しは慣れたし、責任もついたと思うのでよかったです。中学生になっても、なにごとも協力したいと思っています。話し合いと協力が重要です。第二小学校六年 小川紀子さん
私は儘下子ども会に入っています。今まで子ども会活動をやってきました。思ったことは、いろいろな行事などはほとんどお父さん、お母さん方が計画し、行っているという事です。私たちも一応やっているにはやっています。それはとくに目立った活動ではありません。

話し合いと協力が重要です

第二小学校六年 小川紀子さん

私はあと少しで子ども会を終わりますが、残っている人々には、しっかり活動してもらいたいと思います。子ども会活動を行うのにすべて役員の方におしつけてしまつては、なんの意味もないと思います。もつともつとみんなで話し合う時間をつくれば、たくさんよい意見が出て、みんなの子ども会になると思います。



4月のテーマ
私の心に生きている故郷

◎字数

◎字
四百字づつ原稿用紙一枚

◎締切り日
4月7日(水)まで

◎投稿先・問い合わせ先
富士川町役場・企画開発課

◎注意事項

今回は他市町村から転入されたみなさんが対象です。住所・氏名・年齢を忘れずに。

ママは記者の 役場訪問記 ～水道課編～

私たちは毎日何気なく水道の蛇口をひねって水を使っています。今月は、その水を送る側の水道課を、3月3日に訪問しました。谷津倉参事さんは、とても熱心な話し方で、まず町の水道の歴史から話してください。

現在、私たちが使用している水は、次亜塩素酸ソーダで消毒されていますが、その他、毎月一回の浄水の水質検査や県の立入り検査さらに年一回、原水・浄水とも県の厳しい検査が行われています。このような検査に町の上水道の水は合格しているのですから、飲料水としても安全であるというわけです。

つぎに、同課から私たちへのお願いを記しておきます。

◎現在、漏水などの修理費は公道は町負担、敷地内は自己負担となつていますが、敷地内でも検針器までは町負担だと思つている人がまだ多いようです。しかしこれは間違いです。

◎検針器の上に物を置いたり、すぐそばに犬をつないだりすると検針がやりにくいので気を付けてください。また、冬などは発泡スチロールなどをつめるなど保温にも心掛けましょう。

◎蛇口をいっぱい開いて使つと、むだにする水も多いので、細く

出すか管の途中にアングルバルブ（水圧調整バルブ）を付けるのも良い方法です。これは余談ですが、風呂の水を入れる時に少しずつ出しても、現在の検針器は感度が良いので、たくさん出した場合と結果は同じのことです。

最後に、私たちの一番気になる水道料金についてうかがってみました。

昭和56年度は収支のバランスがとれないで資金不足のため、今後第三次拡張工事や施設の耐用年数がきているものもあり、その取り換え時期にきていることから昭和57年度から値上げをみなさんにお願ひしなければならぬこととしました。

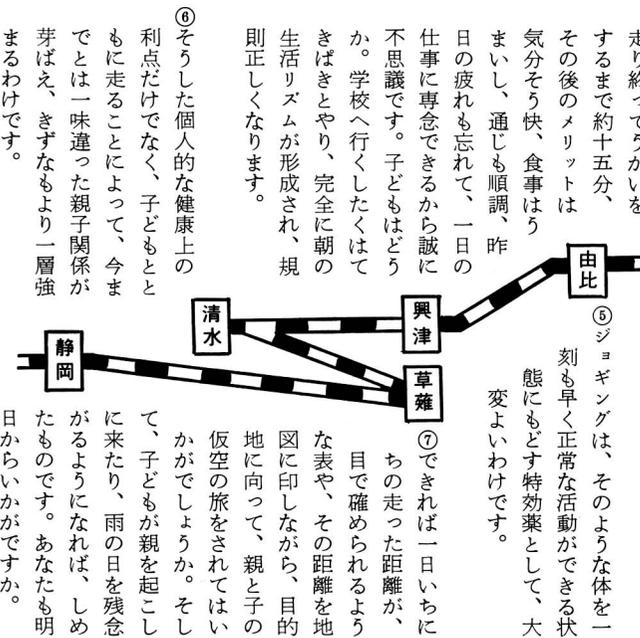
広報モニター 松尾保子



右から谷津倉水道課参事と太田・松尾両モニター

近代ジョギング考 足と脳の働き

- ①一日と寒さもやわらぎ、いよいよ春がやってきました。朝6時には、すっかり明るくなり、床から離れることにもさしたる抵抗感もなくなりました。
- ②準備運動から走り終つてうがいをするまで約十五分、その後のメリットは気分そう快、食事はうまいし、通しも順調、昨日の疲れも忘れて、一日の仕事に専念できるから誠に不思議です。子どもはどうか。学校へ行くしたくはてきばきとやり、完全に朝の生活リズムが形成され、規則正しくなります。
- ③そうした個人的な健康上の利点だけでなく、子どもとも一緒に走ることによつて、今までは一味違った親子関係が芽ばえ、きずなもより一層強まるわけです。
- ④それは人間の脳細胞と深いかわりがあるときれています。人間脳細胞が眠りから完全に目覚め、本来の活動を開始するには、普通の状態では約二時間を要するといわれています。体もそれまでには半睡状態にあるわけです。
- ⑤ジョギングは、そのような体を一刻も早く正常な活動ができる状態にもどす特効薬として、大変よいわけです。
- ⑥できれば一日いちにちの走った距離が、目で確かめられるような表や、その距離を地図に印しながら、目的地に向つて、親と子の仮空の旅をされてはいかがでしょうか。そして、子どもが親を起こしに来たり、雨の日を残念がるようになれば、しめたものです。あなたも明日からいかがですか。



若者の主張 地域に密着した活動を

富士川町連合青年団 望月 則和

若者相互の親睦融和と社会活動をもつて、青年自身の生活を向上させるとともに、明るく住みよい地域社会をつくることを目的としてスタートした「富士川町連合青年団」の歴史も数えて今年で二十五年、四分の一世紀の区切りを迎えました。その間、幾多の変遷を経て現在に至りましたが、変ることなく受け継がれてきたのは、青年の持つ若さと意気でした。

近年、とかく興味本位で個別行動をとりがちな青年が多いと批判を受ける中で、一つの目的に向けて団体行動をとる私たち青年団の存在は、自負するわけではありませんが、大変貴重だと思います。若さとは常に現実の社会との矛盾に疑問を抱きつつ、自らを改革し



明日を夢みて
「模擬結婚式」(清水市で)

ながら生きていかねばならない宿命を持つていてのではないのでしょうか。確かに個々の青年が持つ考えは稚拙で微小かもしれませんが、しかし、それらが結集した時には底知れぬエネルギーとなり、地域を変えるほどの力として、発揮できるのではないのでしょうか。

残念ながら現在の私たちの活動は、団員も三十人弱と小人数で、正直いって活発な活動とはいえません。けれども、同じ富士川町で生れた同年代の若者たちの集りです。から、団員同志が良き友だち、良き相談相手として、喜びも悩みもそのつど分け合い、和気あいあいとした交際を続けています。そして今年度も、研修会、交流会(富士市の青年団と)・キャンプ・模



税の豆知識

(その8)

今月からは、住民税に変わって固定資産税についてお話ししたいと思います。

まず固定資産税を大別すると土地・家屋および償却資産に分けられます。土地とは、田・畑宅地・塩田・鉱泉地・池・沼・山林・牧場・原野・その他の土地をいい、家屋とは、住家・店舗・工場(発電所や変電所を含む)・倉庫・その他の建物をいいます。また償却資産とは、土地や家屋以外の事業の用に供することができ資産をいい、その減価償却額(費)が法人税法や所得税法の規定による所得の計算上、損金または必要な経費に算入されるもので、自動車税や軽自動車税の対象となる車輛を除いたものです。たとえば、構築物(門・へい・庭園・橋)機械や装置(旋盤・モーター・プレス・コンベアー)・船舶や航空機(はしけ・ボート・漁船航空機)・車輛や運搬具(自動車・フォークリフト・ブルドーザー)・工具や機具と備品(切削工具・計量器・レジスター・陳列ケース)などです。

また、固定資産税を納めなければならない人(納税義務者)は、賦課期日(1月1日現在)において登記簿上固定資産を所有している人になります。これをもっと詳しく説明すると、不動産登記法により、すでに登記されている土地や家屋については、担当者が真実の所有者が誰であるか確認することなく、土地・家屋登記簿に登記されている人をその所有者であるとし、固定資産税を課すこととなります。したがって、賦課期日前にすでに他人に売り渡しても登記簿上の所有者変更手続きをとらないで賦課期日現在なお旧所有者名義になっている場合は、現実の所有権が売り渡しの相手方に移つても旧所有者に課税されるわけです。さらに登記されていない土地については土地補充課税台帳、家屋については家屋補充課税台帳、償却資産については償却資産課税台帳に登録されているものに課税されます。しかし、震災・風水害・火災などの事由によつてその所有者の所在が不明である固定資産・国が収納または買収した農地、土地区画整理事業や土地改良事業の施行にかかる土地などはその使用者を所有者とみなし、その使用者を固定資産課税台帳に登録して課税することになります。

戸籍の窓

57・2・1〜2・28届出(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
相生町	谷津倉千博	金之助	長女
〃	阿多 ゆき	ヨシ子	二女
〃	佐藤 文子	文敬	長女
堺町	原田 剛夫	喬夫	長男
四十九町	朝原 小雪	実	長女
宮町	松下 友紀	守男	長女
〃	花田 千秋	洋一	二女

かなしみ

区名	氏名	年齢
大楽窪	齊藤 圭介	芳昭 二男
幸町	小林 礼奈	儀詔 長女
〃	薩川 徹也	茂夫 長男
東町二	岩崎 有礼	公一 二男
南町二	小泉 淳	信安 長男
八幡町	松本 紀宏	操 長男
清水町	馬銅野琴美	修治 長女
相生町	池上 とよ	七九

一里塚



春の季節を一番最初に感じるのは私の鼻だろうか。目が覚めるとクシャミを七つ八つ、鼻みず、鼻づまり、喉の奥がヒリヒリと追いつちをかけてくる。カーテンを少し開けるともうすっかり明るい。なだらかにせり出した山並と家々役場の広報無線用の柱の横に「しゅる」の木が一本。引越してきた十年前は平家の住家が数軒「しゅる」の木がならんで三本、あとは春を待つ田畑だけだったのになと思いつつながら、息子たちの部屋に向って「起きろよ」と怒鳴って階段

をドタバタ女関に新聞を取りに行く。今朝も一台の車もやりすごさずに、車庫から車を出すことができた。これも大北バイパスが開通したからで、それまでは芝川と富士宮を結ぶ道路として一日六百台もの車が往復していた。今はのんびりと道路の好きな所を歩けるような生活道路となった。県道富士川―身延線は混んでいるかなと思つたら、二中前までスイスイ、最近日によって渋滞したりしなかったり、大変浮気な道路状況である。松野地区のバイパスが全線開通したら、この道路に立派な歩道をつけ、大きくなる木を植え、自転車車を列をなして走り、子どもたちが好きなように歩けたらな――

暖かくなつたらマイカーからバスに切替えてみるかと思いつながら馬坂トンネルを抜けたら、対向車のライトがビームでビカビカ、あわててヘッドライトを消して時計をチラリ、8時まであと十分、三分前には到着できると、今朝もアタセルを踏み込んだ。 野沢

善意銀行へ寄託

57・2・1〜2・28

(敬称略)

七千円	渡辺直人・桐山健次
十万円	望月昭宏(第二小学校)
二千四百五十円	相生町 長谷川 優
三万円	木島木楽会老人クラブ
	盛下町 望月 俊一

おかあさんの

“知恵袋”

2月17日、老人福祉センターに東海大学女子短大助教授・風戸みえ先生を迎え「私たちをとりまく食品」をテーマに講演が開かれました。今月は、この講演から感じたことをお話ししたいと思います。

宮町 増井 冬木

四肢の骨鳴るだけ鳴らし寒明ぬ遅るるを勞わられつつ青き踏む

大北町 天野 たま

立春の松山・杉山香ばしれり

しもやけの頬撫でる手もしもやけ

し 南町 法月 幸子

燈台の閃光十里聖夜来る

かぐわしき寒気につらね道障子

南町 影島 智子

涅槃高野に亡母の一灯加へけり

舍利講に入りて襖の鶴舞へり

南町 木伏 八子

おだやかな兄の死顔寒風けり

紅梅や諍ふ毎に近づきぬ

清水町 宇佐美裕子

シクラメン玻璃戸の内の子守唄

南町 宇佐美幸子

母よりの電話の切れてしぐれかな

南町 田辺つぎ子

学ぶ子の健やかなれよふとん干す

南町 上野みつ子

青竹の尖にどんどの火の走る

南町 上野 君江

ひたすらに編みし毛糸の白若し

本通り 古木喜久恵

落葉焚く庭に夕日の移り来ぬ

南町 望月 洋子

吹き晴れて冬木は荒星とどめけり



△文協俳句会▽